

62. <バイオソリッド>

下水汚泥は、英語では biosolids (バイオソリッド) と呼んでいます。直訳すると、生物的固形物となります。汚泥を biosolids と呼ぶようになったのは 1990 年頃で、それまでは sludge (スラッジ) と言っていました。この sludge という言葉は、非常にイメージが悪いということで、新しい用語を考えようということになり、この用語の選定を WEF (米国水環境連盟) が実施しました。WEF では、固定観念に凝り固まった大人よりは、頭の柔軟な学生にアイデアを募ろう (と思ったかどうかは分かりませんが) ということで、WEF 学生部会が担当することになりました。WEF 学生部会では、会員の学生からアイデアを募集し、その後応募された言葉に対して投票を行いました。その際、1 位になったのが biosolids です。命名者の学生は WEF 総会で表彰されるという名誉を得ました。

当時、私はイリノイ大学に留学中で、WEF の学生会員でしたので、頭をひねり biosoil (バイオソイル：生物的土壌) を応募しました。私の biosoil は、投票の結果惜しくも 2 位となり、栄えある命名者の権利を逃してしまいました。

その際感心したのは、WEF が学生部会に全てを任せ、投票 1 位のものを、そのまま採用したことです。日本で同じことをしようとするれば、まず名称検討委員会を設置し、有識者の委員を任命し、投票結果を参考にしながら十分な検討を行い、委員会で決定する、というプロセスとなることでしょう。

日本でも、下水汚泥の名称を変更しよう、ということが以前言われていましたが、汚泥という言葉は、この業界の人にとっては非常になじみのある言葉なので、変更は難しかったようです。

ちなみに、「下水」も sewage が長く使われてきましたが、現在は wastewater が一般的です。我が日本下水道事業団の英語名は、Japan Sewage Works Agency ですが、これは依然そのままです。日本では、なかなか変更は難しいようですね

< 藤本 裕之 >

※ J S 技術開発情報メール No. 68 号 (2007/7/3) に掲載